

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第4学年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中間	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と計算	4年	A(5)イ 小数の加法, 減法	小数のたし算が計算できること。			○		○	
②		(2)		数と計算	4年	A(3)ア 除法の計算の仕方	3位数÷1位数の余りのあるわり算が計算できること。			○		○	
③		(3)		数と計算	4年	A(4) 整数の計算の能力の定着	3位数×3位数のかけ算が計算できること。			○		○	
④		(4)		数と計算	4年	A(1)ア 億, 兆の単位	数直線に表された大きな数を読み取ることができること。			○		○	
⑤	2	(1)		数と計算	4年	A(3)ウ 被除数, 除数, 商及び余りの間の関係	3桁÷2桁の余りのあるわり算の余りの大きさが分かること。				○	○	
⑥		(2)		数と計算	4年	A(4) 整数の計算の能力の定着	包含除の場面について, 適切なわり算の式が分かること。				○	○	
⑦		(3)		数と計算	4年	A(3)ウ 被除数, 除数, 商及び余りの間の関係	かけ算とわり算の相互関係から計算の結果を確かめる方法が分かること。				○	○	
⑧	3	(1)		量と測定	4年	B(2)イ 角の大きさの単位	分度器を用いて角の大きさを求めることができること。			○		○	
⑨		(2)		量と測定	4年	B(2)イ 角の大きさの単位	直角や180° を基にした, 角の大きさの見積もり方が分かること。				○	○	
⑩		(3)		量と測定	4年	B(2)ア 回転の大きさ	分度器を用いた180° よりも大きい角の求め方を考えることができること。		○				○
⑪	4	(1)		図形	3年	C(1)ウ 円, 球	模様を見て, 円の中心が分かること。				○	○	
⑫		(2)		図形	3年	C(1)ウ 円, 球	円の性質を基に, 円の半径の長さを考えることができること。		○				○
⑬	5	(1)		量と測定	3年	B(1)イ 重さの単位と測定	身の回りにあるものから, 50円玉1個と同じくらいの重さのものを選ぼうとしていること。	○					○
⑭		(2)		数量関係	3年	D(2)イ □を用いた式	分かっている重さから50円玉の枚数を考えることができること。		○				○
⑮	6	(1)		図形	4年	C(1)イ 平行四辺形, ひし形, 台形	平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいことが分かること。				○	○	
⑯		(2)		図形	4年	C(1)イ 平行四辺形, ひし形, 台形	平行四辺形の性質を基に, 等しい長さを見付けようとしていること。	○					○
⑰	7	(1)		数量関係	3年	D(2)イ □を用いた式	数量の関係を, □を用いた式に表すことができること。			○		○	
⑱		(2)		数量関係	3年	D(2)ア 式と図の関連付け	場面に対応する数量関係を表す図が分かること。				○	○	
⑲	8	(1)		数量関係	4年	D(1)ア 変化の様子と折れ線グラフ	折れ線グラフから読み取れる情報を考えることができること。		○				○
⑳		(2)		数量関係	4年	D(1)ア 変化の様子と折れ線グラフ	折れ線グラフを読み取り, 適切な説明を考えることができること。		○				○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。